

令和5年度 事業計画書

1 施設管理業務 指定管理者としての豊橋市障害者福祉会館の管理運営を行う。	
2 指定管理者が行う業務	
名 称	事 業 の 内 容 等
障害児(者)余暇支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学齢期の障害児や就労後の余暇活動が自力ではできない障害者に対するサポートとして、会館特性を生かした余暇支援事業を開催する。 ・ 映画会、料理教室、移動プラネタリウム等、当事者ニーズを社会情勢に合わせて丁寧に拾い上げ、障害児(者)の余暇の体験が豊かになるように支援する。
スポーツ文化教室事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のスポーツ文化教室を調整し当事者ニーズに合わせて講座を開講する。 ・ 現在は、障害者のみの各種教室を実施しているが、ボッチャの様に広く市民に障害者スポーツの理解促進を視野に入れているものは、バランス良く健常者の参加も認め、教室を通じて障害者との交流を図る。 ・ 購入したボッチャ用具の有効活用普及に努める。 ・ 寄せ植え、お正月アレンジ等 生活環境を豊かにする講座を開講する。
避難所体験事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉避難所に指定されている本施設において、利用者の防災意識の向上を図る。一般市民の障害者防災への理解を促す手立てとして防災行事を開催しコロナ禍後の新しい避難様式や障害者防災について検討していく。 ・ 防災タイムを開催し、防災を日常活動の延長線上にあるものとして意識づけるきっかけをつくる。 ・ 防災関連事業の報告、発表は関係機関に配布し、市の防災関連行事には積極的に障害者が参加できるように働きかける。 ・ 親子防災教室を夏休みに開催し、障害理解と防災意識の向上に努める。
啓発活動事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設見学者を積極的に受け入れる。 ・ さくらだよりを関係各所に配布。 ・ 一般市民が参加できる行事で障害者との交流の場を作る。 ・ パラリンピック種目のボッチャの普及を契機に障害者理解を深める。
会館活性事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合わせた七夕、ハロウィン正月行事等を実施し地域住民との交流の機会とする。 ・ 春こいまつり 会館利用者の活動発表の日をつくり作品展示やライブなどを通して市民交流の場とする。 ・ ロビーに季節感のある装飾をして人が集まりやすい環境を作る
教養講座事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活に役立つ情報をわかりやすく楽しく学べるさくらカフェを開催する。 ・ 豊橋市が開催している出前講座等、社会資源を有効活用し理解を広める。 ・ 福祉事業所の出張カフェを実施し、障害者理解の一助とする。
その他 特記事項	<p>令和5年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されるので、事業開催には会館利用者、参加者の健康管理、安全を最優先項目とする。</p> <p>実施には講師、関係者と感染症対策について十分検討し、確認して判断する。</p> <p>中止、延期等の事業については代替え案を検討し、可能な範囲で実施に努める。</p>

(様式第3)

収支予算書(令和5年度分)

(単位:千円)

区 分		金 額	具体的な積算
収入計画	指定管理料	35,755	
	利用料金	0	
	自主事業収入	0	
	その他収入	0	
収入合計		35,755	

区 分		内 訳	金 額	具体的な積算
支出計画	1)人件費	給与	14,875	嘱託職員8名分
		手当等	0	
		法定福利費	2,439	社会保険料8名分
		賃金	1,563	HP管理、機関紙作成、プール監視員
		福利厚生費	108	職員医薬品、健康診断
	2)需用費	消耗品費	500	施設管理用、事務用、プール運営用消耗品
		印刷製本費	100	チラシ・ポスター・「さくらだより」印刷費
		光熱水費	4,600	電気、ガス、水道
		燃料費	17	ガソリン、LPガス
		修繕費	1,050	会館施設修繕、設備修繕
	3)役務費	通信運搬費	210	電話、切手、ケーブルテレビ
		手数料	80	水質検査、支払手数料
		保険料	430	自動車自賠責保険・任意保険、施設賠償
	4)委託料		5,108	警備、会館設備保守、廃棄物収集等
	5)賃借料		213	玄関マットレンタル等
	6)雑費		0	
	7)公租公課		2,200	法人事業税等、自動車税、印紙、消費税
	8)直接事業費		2,044	余暇支援668千円、スポーツ文化教室840千円、避難所体験135千円、啓発事業80千円、会館活性270千円、教養講座51千円
	9)その他		218	新聞図書費140千円、旅費48千円、研修費28千円、会議費2千円
支出合計			35,755	